

会議名称	平成27年度第3回平塚市スポーツ推進審議会
日時	平成28年(2016年)3月22日(火) 10時00分から11時40分まで
会場	平塚球場 会議室
委員数	15名
出席者 委員	13名 陶山正明、萩裕美子、田中國義、杉山鎮夫、首藤幸子、浜田妙子、八田力、畔柳豪、市川正雄、大曾根俊久、細野文夫、中尾圭作、歌門俊雄
出席者 事務局	5名 鈴木社会教育部長、小泉スポーツ課長、市川課長代理、五島課長代理、植手主査

1 陶山会長あいさつ

【事務局】

平塚市スポーツ推進審議会規則第4条に規定する定足数は委員定数15名に対し、本日の出席者13名で過半数を超えているため、会議が成立することを事務局から報告する。

2 議題

(1) 平塚市スポーツ推進計画について

- ・ 各種事業の進捗状況、平塚市スポーツ推進計画の進行管理について、事務局から説明。

ア 各種事業の進捗状況について

○ 平塚市スポーツ指導者制度及び平塚市スポーツボランティア制度について

【事務局】

これまでの審議会の中で、スポーツ指導者、ボランティア制度については、委員の皆様にご意見を伺い、進めてきた。

現在、登録者の募集をしており、関係団体、各地区公民館等へ募集案内を配布するなどして、周知を行っている。

また、制度の概要、登録者の募集などの内容でスポーツ課ホームページにも掲載している。現在、スポーツ指導者として応募が1名。

制度を開始したばかりで、これからの応募もあると思うが、制度の開始、また、登録者の募集の情報がまだ、浸透していないという印象を受けるので、これから登

録者の確保のため、スポーツ課や関係団体が実施しているイベント等でも、登録可能な対象者に対して、積極的に周知をはかっていきたい。

○ 手話ダンスによる健康づくり事業について

【事務局】

手話ダンス事業については、平成26年度から実施しており、ハンドサインというグループに公演やワークショップを委託して、子どもから高齢者、障がい者が健康でいつまでもいきいきと暮らし続けられるまちづくりに向けて取り組んでいる。

神奈川県内の中・高50校公演という企画を立て、3月8日の平塚市立大野中学校で50校公演を達成し、手話とダンスの普及に貢献している。

平成27年度の実績として、3月27日のひらつか市民スポーツフェスティバルで開催予定を含め、公演を3回、ワークショップ参加者による発表が5回、ワークショップが1クール全8回で、3クール（3クール目は現在実施中）、指導者育成を全8回で1クール実施した。

○ スポーツ情報ポータルサイトについて

【事務局】

平成27年4月に平塚市スポーツ情報ポータルサイトが開設された。平成27年度はスポーツ団体の情報、スポーツ施設情報などを中心にホームページを充実させ、ホームページの操作説明の動画化、市民団体検索機能など、機能についても追加した。

ポータルサイトのアクセス状況ですが、3月15日現在、約5万人のアクセスがあった。ページ数は約14万ページだった。1月に突出してアクセスがあったが、1月は市内駅伝を実施しており、記録速報の閲覧の関係でアクセスが集中した。

なお、携帯電話端末等のモバイルアクセスについては、全体の約50パーセントを占めている。

今後、状況分析を随時行い、更なる充実を図りたい。

イ 進行管理について

【事務局】

前回の審議会の中でも提示させていただいた、スポーツ推進計画に位置付けられている各事業の実施状況表です。前回提示させていただいたものを委員の皆様の御意見を踏まえ、一部訂正した。こちらもスポーツ課ホームページに掲載する予定。

また、各事業の評価シートは、平成27年度の事業評価を事業実施主体へ4月上旬に依頼予定。

スポーツ関連事業を効果的に推進するために継続的に改善を行い、また、評価内

容については、審議会に報告させていただき、随時検討していただきたい。

【会長】

内容について、委員の方から質問はあるか。

【委員】

進捗状況について、遅れている部分について、どの程度遅れているか。

【事務局】

進捗状況が遅れている事業について、スポーツボランティア制度については、制度の周知は行っているが、反応が鈍いと感じる部分があるので、スポーツ推進委員の方や、公民館等に直接働きかけるなどの方法を考え、制度の充実を進めたい。

スポーツ普及員については、スポーツをしていない方を対象にスポーツを普及させていく、スポーツ普及員の創設をスポーツ推進計画策定に伴う事業に位置付けられたが、広い意味でスポーツの推進を図るスポーツ推進委員が存在する中、スポーツ普及員の明確な位置付けを検討しなければならないので、これについてはスポーツ推進審議会でも検討させていただきたい。

スポーツ指導者制度については、スポーツボランティア制度と同様に周知は行っているが、こちらも順調な登録状況には至っていない。個別に体育協会公認スポーツ指導者やスポーツ推進委員、公民館等で把握している指導者に直接働きかけるなどの方法を考え、制度の充実を進めたい。

市内のプロスポーツ団体を活用したイベントの開催については、予算が伴わない状況下での、事業の実施については難しい部分もあるので、事業の実施方法等を含めて検討したい。そのような状況で進捗状況に遅れが出ている。

施設の有効活用については、まず、未利用地については調査が必要なため、現在順調な調査には至っておらず、県、民間施設の借用については、スポーツ課を介して、事業の実施を行うかどうかなど、まだ、検討事項が多く、進捗状況に遅れが出ている。いずれにせよ、情報収集は必要と考える。

【会長】

進捗状況に遅れが出ている部分もあるが、時間をかけて事業を進めていくことも必要。

【委員】

前回のスポーツ推進審議会でも報告された事業について、現在も遅れている理由はいかがか。

【事務局】

新規事業のため、順調に進まない部分もある。遅れている事業に関しては、調査を進めながら、事業の展開を図りたい。スポーツ指導者、ボランティア制度については、制度の周知を改めて行っていくと同時に、個別に登録対象者に対して、アプローチしていくことも必要と考える。

【委員】

事業をこのまま進めるのではなく、本当に必要な事業かどうか検討する必要がある。

【事務局】

検討する。

【会長】

制度の周知を図っていただきたい。

【委員】

各事業について、事業を進めるにあたり様々な情報が必要になるので、スポーツ課で集約する必要がある。

【会長】

スポーツ指導者、ボランティア制度について、各地域での指導者等がいるはずなので、是非登録していただきたい。

(2) 平成27・28年度社会体育事業実施状況等について

ア 平成27年度社会体育事業実施状況について

【事務局】

平成27年度の実施事業については、3月22日現在、先日開催されました少年少女マラソン大会が終了し、平成27年度に予定していた事業はほぼ終了した。

実施事業について、スポーツ5団体長はじめ、関係者の皆様方、運営等について御協力ありがとうございました。

3月27日に、第3回のひらつか市民スポーツフェスティバルが、開催予定で、スポーツフェスティバル実行委員会が主催で、共催として、スポーツ5団体、平塚市まちづくり財団、後援に平塚市教育委員会となっている。総合公園全施設にて開催予定。

参加団体によるスポーツの教室・相談・展示等をはじめ、スポーツトップアスリートを招待してのスポーツレッスンと講演も開催するなど、様々な事業の実施を予定している。

多くの市民が気軽に参加できるイベントとして内容を充実させている。

イ 平成28年度予算並びに実施予定事業について

【事務局】

スポーツ課歳入予算について、27年度と比較して、若干増額の見通しとなっている。歳入予算に関しては、パークゴルフ場でネーミングライツの契約を締結したことで、予算増額の見通しで、ネーミングライツによる収入が、主な歳入予算の増額の理由で、その他については、ほぼ横ばいとなっている。

28年度歳出予算については、第2回の審議会の中で、予算削減が見込まれると

いう旨の説明をさせていただいた。それに伴い、各事業とも基本的には歳出予算減額となっている。

事業ごとの概要は、保健体育総務費の保健体育庶務事業については、各種スポーツ大会への補助金、団体への補助金、また、スポーツ情報ポータルサイト関係予算である負担金が前年度と比較すると減額されている。また、隔年で平塚と小田原で開催していた、秩父宮賜杯実業団・学生対抗陸上競技大会だが、平成28年度から継続して平塚開催となり、補助金についても、継続して予算の確保が必要になる。補助金額については、昨年度までと比較して減額している。

サッカー文化の振興によるまちづくり事業は、約25万円の減額。

市民総合体育大会開催事業は、若干の減額。

スポーツ推進審議会運営事業については、会議開催回数を減らしたため減額になっている。

スポーツ推進委員活動事業については、委員報酬の要綱も改正し、研修会等への参加実績に基づく支払い方法などを新たに加え、委員報酬支払額の減額を見込んでいる。ただ、平成28年度は消耗品（ユニフォーム）購入のために、消耗品費の増額をしているので、報酬額と消耗品費の増減でわずかに増額となっている。

各種スポーツ大会開催事業については、報償費、各種委託料等、減額されている。

学校体育施設開放事業については、委託料の中の運営委員会謝礼分の減額が主な予算減額分となっている。

小学校プール開放事業については、開放日数を減らしたことによる予算減額となっている。

選手派遣事業については、報償費の減額により、若干の予算減額。

手話ダンス事業については、昨年度と同額。

体育施設費の事業内容と予算は、スポーツ施設活用事業については、夜間照明施設点検委託料が減額、こちらは平成27年度に点検を前倒しで行い、その分、28年度予算を減額した。ただし、点検結果により、修繕箇所が出てきたので、施設修繕料の増額をした。事業全体としては、減額。

土沢スポーツ広場活用事業については、光熱水費の予算を減額した。

平成28年度社会体育事業実施状況については、平成27年度と比較して、同日程、同事業で進めていく予定。変更点は、市総体ニュースポーツ大会のパークゴルフ大会を6月に変更予定とした。2月の下旬から3月の日程は、Jリーグの関係で、場合によっては日程が前後する可能性がある。

【会長】

平成28年度実施予定事業について、日程が記載されている事業については、日程は確定か。

【事務局】

基本的には確定で良い。

(3) 市民総合体育大会（ニュースポーツ大会）の日程等について

【事務局】

パークゴルフ大会は、市民総合体育大会のニュースポーツ大会として開催している
ので、日程は本大会とは別日程で開催している。市総体は地区体育振興会単位の対抗
競技で得点を競う正式種目と得点対象とならない公開種目で実施しているが、パーク
ゴルフは地区対抗ということもあり、選手の派遣については地区体育振興連絡協議会
に御尽力いただいている。パークゴルフ大会を本大会と同日程とした場合、選手派遣
についても工面しやすく、パークゴルフ大会は参加者も多いので、現在は公開種目だ
が、正式種目としての開催も可能である。また、平塚市体育協会の加盟団体ではな
いが、大会はパークゴルフ協会に現状も運営委託していること、協会単独での大会の
開催もしていることから、大会運営のノウハウもあり、本大会と同日程での開催が
可能である。

大会参加選手の調整もしやすくなると思われるので、この点について委員の皆様の
御意見を伺いたい。

【会長】

市民総合体育大会の本大会については、大会主管団体として、各スポーツ団体の御
尽力により、運営されているが、パークゴルフ協会は平塚市体育協会の加盟団体では
ないが、その点について、問題はないか。

【委員】

大会の運営については、各スポーツを専門分野とする団体が主管するべきと考える
ので、問題はない。

【委員】

バウンドテニス大会に参加している地区数はいくつか。また、日程調整の結果、ト
リムバレー大会とバウンドテニス大会の同日開催となった場合、運営役員等の人員調
整が難しいのではないか。

【事務局】

バウンドテニス大会の参加地区数は7地区。パークゴルフ大会の日程変更の検討で
あり、トリムバレー大会とバウンドテニス大会の同日開催が困難であれば、意見を踏
まえて検討する。

【会長】

パークゴルフ大会の日程変更と公開種目から正式種目への変更の提案という理解で

よろしいか。

【事務局】

良い。

【委員】

トリムバレーが地区数から考えても、何故、正式種目にならないのかという問題はないか。本大会の以前に日程を変更して、本大会の得点に加算して、正式種目として取り扱わなければ、不公平にならないか。

【事務局】

トリムバレーの大会運営については、スポーツ推進委員に御尽力いただいているが、大会開催までに研修会等で審判員講習を行い、大会運営の準備をすることや、大会に参加する地区単位で予選会を開催していることなどで、市民総合体育大会の本大会後の開催になり、正式種目ではなく、公開種目として取り扱っている。本大会のバレーボール競技と出場選手が重複すること、会場確保が難しいことなども、本大会と同日開催及び、同時期での開催をしていない理由となっている。

【会長】

スポーツ推進委員等、大会運営に関わる団体で、正式種目として取り扱う方法を検討してほしい。パークゴルフ大会については関係団体と日程調整を進めていただきたい。

(4) 平塚市スポーツ優秀選手表彰対象の取扱いについて

【事務局】

毎年1月1日から12月31日までの期間で、国際大会及び全国大会で優勝、準優勝した個人又は団体をスポーツ優秀選手として表彰する平塚市スポーツ優秀選手表彰を実施しているが、表彰の対象として競技の種目、または、大会規模は現在の表彰規定では明確にしていない。例えば、モータースポーツのような動力を使った競技など、表彰の対象とするかどうか、判断が難しいものも今後申請される可能性もありますので、表彰の対象とする種目について、明確にすべきか、委員の方の御意見を伺いたい。

【会長】

委員の方の御意見はいかがか。

【委員】

種目、規模は問わず、現在の表彰基準を満たしていれば、表彰対象として良い。

【副会長】

東海大学についても、表彰を行っているが、基準は地区予選があるか、競技人口はどれ位かなどを考慮して、表彰者を決定している。その都度、表彰対象者について臨

機応変に選定するのが良い。

【会長】

表彰者の選定については、委員の方の意見を踏まえ、対応していただきたい。

3 その他

(1) 3月市議会について

【事務局】

小学校プール開放事業について、28年度予算が減額されている理由について、質問があり、厳しい財政状況、及び安全面を最優先に事業を行うということを前提に検討を行い、開催日数の縮減による予算削減と説明。

日数が限られたプール開放に一人でも多くの子供たちが利用する働きかけについて、質問があり、例年学校にプール開放の日程や参加の注意事項を各生徒にプリント配布していると説明。

学校にあるAEDを一時借りて運用していたことについて、今のタイミングの配備では遅れた対応ではないか、また、仕事の点検作業として、果たしてこの事業が今後どうしていくかという関連性について、質問があり、事業仕分けでは、目的の変更と経費の削減、事業の在り方を考えて、18日を10日間、経費を300万円程度減額して実施したという経緯がある。従来からAEDについては、学校のを借りるという考え方の中で進めていたが、常時置けないという学校も何日か出てしまうこともあった。これでは安全面が確保できないということで、今回プールサイドへの配置を確実に実行する予算とした、と説明。

プール開放に対して、民間の施設を借りるなど検討をしたと思うが、どんな現状があるのか。プールそのものの老朽化もあるが、28校を開放している中で、対策について、28年以降どのように考えているのか、という質問については、事業仕分けでプールの開放の在り方として、民間のスイミングスクールや本市の市営プールでの実施も検討の課題にしていた。現在、プールは老朽化しているがまだ使える状況にあり、まずは有効活用していくと説明。

学校プールは、全体的に老朽化が進行している状況である。その対応として、プールの築年数や劣化状況などを調査して、優先度を精査し順次改修工事を行っている。また、毎年6月にポンプやろ過装置などのプールの使用前点検を全校で実施し、不具合がある場合は速やかに修繕を行って、プールの使用に支障がないように対応していると説明。

【会長】

小学校プール開放日数は何日か。

【事務局】

7日間。

【会長】

地域の方は開放日数を増やしてほしいという意見が多いと思う。厳しい予算状況も考慮すると難しい部分もある。

(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

【事務局】

記者発表資料になるが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係るホストタウンの登録決定という表題で、資料を添付している。

国が実施する、ホストタウン事業について、平塚市も、ホストタウンとして登録された。リトアニアの事前キャンプの誘致を予定しており、調整を進めている。

(3) その他

【事務局】

市長表敬訪問、寄付金の受け入れがありましたので報告する。また、ネーミングライツの応募があり、契約を締結した。

4 閉会